



822号  
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2  
日港福会館 5階  
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622  
メール rouren@kensu.jp  
ホームページ http://www.kensu.jp/  
全国 検数労働組合連合  
書記局



26春闘！賃上げで未来を拓き、組織一丸となって生活を守り抜こう！

# 第77回 全国検数労連中央委員会開催！

1月22日～23日にかけて、第77回全国検数労連中央委員会を開催し、25秋越年闘争経過報告ならびに26春闘闘争方針（案）について活発な議論が行われたのちに、全国団結のもと26春闘方針をたたかぬく事と確認がされました。

【委員長あいさつ（要旨）】  
第77回中央委員会参加の中央委員ならびにオブザーバーの皆様、日頃より運動への参加、組織強化拡大への尽力に感謝します。  
現在、国民生活は止まることのない物価高騰に直面している。その背景にはロシアのウクライナ侵攻の長期化や中東紛争などが断続的に発生し、エネルギー供給の不安定さや円安の影響などが家計や企業経営などに圧迫している。

昨年、総選挙を経て発足した高市政権は、就任から約3カ月で衆議院を解散し選挙を行う運びとなっている。高市政権は安全保障と経済成長の同時実現を最重要課題として危機管理分野と戦略分野への大胆な投資を掲げている。しかし、その政策の重点は安全保障や先端技術への投資に重点を置く傾向が強く、肝心の国民生活の改善に対する具体的に踏み込んだ政策は十分となっていない。

高市政権は成長を謳っているが、その成長は労働分配率の向上、強いては労働者の賃金や生活改善に結びつくのか、強い懸念と不信感がぬぐえない。

我々は新政権に対し、戦略分野への成長投資と同じ熱量で物価高騰を上回る賃金引上げと労働環境の抜本的な改正を強く訴え続けていく必要がある。  
我々が働く港湾では、国の主要施策である物流の効率化、カーボンニュートラルへの対応が迫られている。また、人員不足は慢性的な状態であり深刻化している。

年末年外例外何役では24年不稼働、25年は出勤制限を掛けたなかで精励金積み増しでの対応となった。様々な意見があると思うが、24年の不稼働は港湾の労働条件改善に向けた重要な一歩であったと感じている。この実績を土台に、休日休暇の取得促進や若年層の新規採用への施策を労働組合が一体となって確立してく必要がある。

検数の課題では、付帯作業や内陸倉庫での業務内容の多様化は料金改定を港湾外の体系に引き寄せ、組合員の収入の圧迫の要因となっている。

今中央委員会では、26春闘方針と適正料金収受、仕事と収入の確保を重点課題として議論していただいた。全国一丸となって組織を強固なものとし、物価高騰に対応できる賃上げ、魅力ある検数労働の実現に向けた方針を確立していく。

中央委員・オブザーバーの活発な議論をお願いし、中央執行委員会を代表しての挨拶とします。

春闘では、「大幅賃上げで、生活の豊かさを取り戻す春闘」にしなければならぬ。そして、大幅賃上げはもちろん、安心して働き続けられる職場環境に向けた要求を掲げ、全組合員の団結でたたかいを進めていく。

そのためには、国民春闘や港湾春闘に結集しながら次の5つの柱を基本に26春闘を進めて行く。  
①諸物価高騰から暮らしを守るため大幅賃上げ、底上げを目指す。  
②職場諸要求の前進を目指す。  
③産別政策課題の前進を目指す。  
④組織強化・拡大を進める。  
⑤国民的諸課題の前進を目指す。

【26春闘要求】  
物価高騰が私たちの生活水準を大きく低下させている状況や、26春闘アンケートでの厳しい生活実態など、職場には大幅賃上げへの切実な思いや期待が高まっていることを踏まえ、たうえて全世代にわたる賃金の底上げ、生活基盤の安定を念頭に置いた賃金要求として、要求額一律「38,000円（もしくは15%以上）」を要求する。

初任本給については、両協会の人材確保、定着の観点から初任本給の水準を『高卒220,000円以上』を要求していく。

【26春闘強調点】  
生活に関わるあらゆる物の価格が高騰して4年が経過している。この間、賃金が物価高騰に追いつかない状況が続き、生活の厳しさが年々増加している。そのような状況下で26



【26春闘のすすめ方】  
検数労連第一回交渉については2月13日（金）（予定）を設定する。  
要求提出以降、適時交渉を重ね、有額回答指定日を3月25日（水）を目指しながら港湾産別春闘と検数労連春闘を並行させ、有額回答指定日に誠意ある組合要求に沿った回答の提示を求めていく。

ストライキ権確立について、26春闘についてもこれまで同様すべての組合員が要求に団結し「物価高騰から生活を守るため、大幅賃上げ・底上げを目指す」を結果軸にスト権投票を取り組んでいく。

投票期間は1月26日（月）～2月16日（月）までとし、17日（火）正午までに中央集約とする。

一致団結して大幅賃上げを勝ち取ろう！

お年玉クイズの答え  
労連機関紙821号に掲載されたお年玉クイズの正解は・・・  
「ニワトリ」でした。